琉球大学学術リポジトリ

巻頭言：地域における資源の活用

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 当山, 清善 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017505

【巻　頭　言】

地域における資源の活用

熱帯・亜熱帯における資源を有効に利用する研究及び技術開発を図ることを目的として発足した本研究会は，発足以来3年間という短い期間に国際シンポジウムや講演会の開催など多くの事業・活動を実施し，その成果が高く評価されつつある。研究会の目的を推進するために，研究発表会の開催や研究会誌の発行が予定されており，地域における資源の有効利用を図るための技術開発に期待が寄せられている。

近年，国民の生活意識や価値観がゆとり志向あるいは安定化志向へと変り，地方における消費構造の高度化に伴い地域振興のニーズに対応するためには，地域における天然資源を積極的に活用するための技術開発が重要な課題となりつつある。地域振興のための新しい技術を形成していくためには，その地域に根ざしている伝統技術の改良・発展あるいはその地域の未利用天然資源の活用等多くの技術を確立する必要がある。新しい技術の開発・確立には多数の科学技術者，多くの資金，そしてこれを受容する社会的風土があって，はじめて可能になるといわれている。

地域のどの分野で重点的に研究・技術開発を進めるのか，それを推進するための障害をどう取り除くのかなど各種の対応策を講ずる必要がある。そのためには政策的な対応とともに，大学・研究機関及び産業会がこれにいかに参画するかが成否のカギを握ることになろう。現在，技術開発が盛んに行われつつあるバイオテクノロジー技術など，いわゆる先端技術を既存の地場産業あるいは未利用天然資源の利用拡大に適用することにより，地域産業の発展の核ができ上がるものと期待されている。

琉球大学農学部教授　当山　清善